

平成二十九年 推薦入試 学力考査 (国語)

〈答えは解答欄に記入〉

受験番号

名前

〔一〕次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「ツナ缶」といえば日本ではマグロの缶詰を言う。だが、世界的には、その原料の大半はカツオである。漁獲規制の強化や価格の高さから、日本向け以外ではまずマグロは使わない。

① ツナ缶は今、欧米向けだけでなく国際商品になった。最大の生産<sup>a</sup>キョテンはタイだ。ツナ缶<sup>b</sup>シユウシユウ家でもある山下東子さんの「魚の経済学」(日本評論社)によると、生産量は世界の3分の1を占める。最大手が米国企業に。バイシユウを仕掛けるほどの<sup>d</sup>隆盛だ。

そんな動きが、私たちの食卓にも影響しているかもしれない。タイにカツオを供給する南洋での巻き網漁が、近年の日本近海でのカツオ不漁の原因とも言われる。I こちらに。カイユウしてくる前に、② 一( )打( )にするのだという。

春になり、黒潮に乗って太平洋岸を北上する「初ガツオ」の季節を迎えた。A、今年もやはり、③ 各地の漁港にはため息が広がる。近海での一本釣りで知られる宮崎県日南市では魚影を求め、沖合まで船を走らす。高知県沿岸の定置網にもカツオの姿は少ない。年間水揚げの半分以上がカツオの和歌山県すさみ町は、今月中旬の「かつお祭り」を中止した。

ツナ缶は、宗教上の忌避の問題もなく、アジアや中東などでも人気だ。カレー味やトマト風味など世界の味に加工される。冷蔵庫がなくても保存でき、途上国にも受け入れられやすい。

④ それに比べ、カツオのたたきは伝統はあっても、少数派の食文化で分が悪い。国際的な漁獲規制も容易ではないようだ。江戸時代、初ガツオは貴重で今の<sup>f</sup>カヘイ価値になると、1匹数万円だったという。④ そんな時代は避けたい。魚売り場の様子が今日も気になる。

(毎日新聞発行 2016年『余録』より)

問一 傍線部 a～f のカタカナは漢字に改め、漢字はひらがなで答えなさい。

問二 文中の A に入る接続語を、次のア～オの中から一つ選び記号で答えなさい。

ア なぜなら イ たとえば ウ すなわち エ しかし オ しかも

問三 傍線部 I 「こちら」とはどこですか。本文中から抜き出さない。

問四 傍線部 II 「それ」の指示する内容を本文中から抜き出さない。

問五 傍線部 ① 「ツナ缶」が「国際商品」になった理由を、本文中から三つ探し、文末を「〜こと。」に続く形で答えなさい。

問六 傍線部 ② の四字熟語の、二文字目と四文字目に入る字を漢字で答えなさい。

問七 傍線部 ③ 「各地の漁港に」「ため息が広がる」のはなぜか。本文中から過不足なく抜き出さない。

問八 傍線部 ④ で、筆者は何を危惧しているのか。次のア～オの中から最も適切なものを一つ選び記号で答えなさい。

ア マグロの漁獲規制 イ カツオの漁獲規制 ウ マグロの乱獲 エ カツオの乱獲 オ 漁師の減少

「二」次の文章を読んで、後の「く八までの問いに答えなさい。」

〔本文にいたるまでのあらすじ〕

中学三年生の北沢良一は、同学年の野球部のエースである羽根木徹也を通じて、闘病中の少女上原直美を知る。学校帰りにふと直美と話をしたくなった良一は、初めて一人で病院を訪れる。

エレベーターを降り、ナースステーションの前を通ると、和泉さんの顔が見えた。

「あら、今日は一人？」

和泉さんが声をかけた。目が笑っていた。

長い廊下をまっすぐに進んだ。同じ大きさのドアがずらりと並んでいた。どの病室にも、一人ずつ、それぞれの病気をかかえた患者が、**A**横たわっているのだろう。

ドアの横の名札を確かめて、ノックをした。

「はい」

思いのほか元気な声が聞こえた。

「あらっ」

ぼくの顔を見ると、直美が嬉しそうに言った。この前と同じように、ダルマさんみたいな格好で、ベッドの上に座り込んでいる。

直美が喜んでくれたので、とりあえずは、ほっとした気持ちになった。(1)

「いまちようど、あなたのビデオを見てるところだったのよ」

棚上のテレビに、病院の備品ではない、小型のビデオデッキがつながれていた。

画面には、ピアノを弾いているぼくの姿が映っていた。ドアを開けた時には気づかなかったが、部屋の中に、かすかにラヴェルのメロディーが流れている。

「ああ……」

そう言っただけで、声が続かなかった。何か話したいことがあるような気がしていたのだが、こうして直美と向かい合ってみると、何を言えればいいのかわからなかった。まさかぼくがピアノを弾いている場面を見ているとは思わなかった。虚をつかれて、**B**してしまった。

そんなぼくの姿を、直美は面白がるような目つきで見上げていた。

「お座りなさいよ」

ほとんど命令するような口調で直美は言った。言われるままに、ぼくはベッドのわきの折り畳みの椅子に腰を下ろした。

「パパが再生専用のビデオを買ってくれたの。香港だか台湾だかの安物だけど、このテレビで見ると、このテレビで見るんだから関係ないわ」

直美とは、二度会っただけだ。(2) 人見知りしない性格なのかもしれないが、**I**いくらか高慢そうな感じもした。

直美はテレビの画面に視線を移した。ぼくもテレビの中の自分の姿を眺めた。曲が終わるまで、二人とも無言で、メロディーに耳を傾けていた。

「あ、そこで止めて」

野球の試合が始まると、直美が言った。デッキはほんの少し手を伸ばせば届くところにある。でも、直美は本当のダルマさんみたいに、動きがとれないのだ。

「野球は見ないのかい？」

ベッドの上に身を乗り出して、スイッチを止めながら、ぼくは、**II**やつこのことで口を開いた。(3)

「いいのよ。野球って、結果がわかっていると、つまらない」

いかにも、つまらない、という口調で、直美は言った。

毛布にくるまれた直美の姿が、目の前にあった。直美の顔をこんなに間近に見るのは初めてだ。色白の肌が、病気のせいか、かさかさになり、荒れた感じになっていた。それでも、墨で描いたような眉毛や、目の輝きや、血色のいい唇は、細工物のように整っていて、いつまでもこの距離で眺めていたいとは思わずにはいらなかった。

「音楽はいいわ。何度聞いても飽きないもの」

ぼくの顔を見上げながら、直美は言った。ほんの少し微笑んだ。目の動きが、野生動物みたいにしなやかで、**C**している。

「元気そうだね」

椅子に戻りながら、ぼくは言った。**III**自分でもつまらない台詞だと思ったのだが、そんな言葉しか思いつかなかった。(4)

「あたしはいつだって元気よ。足がなくなっただけ」

直美はまったく表情を変えずに、さらっと言っただけ。ぼくはドキッとして**D**をのんだ。徹也ならこんな場合、うまい冗談で切り返すか、そうでなければ逆に、いじけたことを言うな、と厳しくたしなめるだろうが、ぼくはただ、**IV**途方にくれるしかなかった。

沈黙が続いた。

何かしゃべらなければと思うのだが、言葉が浮かんでこない。(4)

直美はまるで、ぼくがどきまぎするのを楽しんでいるみたいに、**V**じろじろとこちらを眺めている。

「ねえ」

不意に、直美が声をかけた。

「あたし、疲れたから、ベッドに寝かせてくれない？」

あわててはくは立ち上がった。

「背中を支えてくれればいいのよ。ゆっくりともたれていくから」

直美はくるまっていた毛布を解いて、膝の方に押しやった。淡いピンク色のパジャマがあらわになった。

(三田誠広『いちご同盟』による)

(注) ○ラヴェル＝フランス人の作曲家。

○デッキ＝ここでは、すえ置き型のプレーヤーのこと。

問一 本文中の[A]から[C]にあてはまる最も適当なことを、次のア～カの中から一つずつ選び記号で答えなさい。

ア ひっそりと      イ ぼうつと      ウ いきいきと

エ しっかりと      オ ゆうゆうと      カ はつきりと

問二 本文中の[D]にあてはまることを、漢字一字で答えなさい。

問三 次の一文が本文から抜いてある。この一文が入る最も適当な箇所を、あとのア～エから選んで、記号で答えなさい。

でも直美は、ずっと以前からの知り合いみたいに、屈託のないしゃべり方をした。

ア 本文中の(1)      イ 本文中の(2)      ウ 本文中の(3)      エ 本文中の(4)

問四 傍線部Ⅰ「いくら高慢そうな感じもした。」とあるが、それが表れている直美の様子を描いた一文をさがし、初めの五字を答えなさい。

問五 傍線部Ⅱ「やつのことで口を開いた。」とあるが、その理由として最も適当なものを、次のア～エまでのの中から選んで、記号で答えなさい。

ア 自分で動こうとしない直美の態度に不満があるため。

イ ピアノの演奏が納得のいくできではなかったので、一刻も早く話題を変えたいため。

ウ 話したいことがあったが、切り出すタイミングを逃していたため。

エ 直美のことが好きであり、緊張してうまくはなせないため。

問六 傍線部Ⅲ「自分でもつまらない台詞だと思った」とあるが、その理由として最も適当なものを、次のア～エまでのの中から選んで、記号で答えなさい。

ア 直美が元気だということは聞くまでもなく分かっていることであるから。

イ 直美に対してもう少し気の利いた話をしたかったため。

ウ 直美がどのようにこたえても興味はないため。

エ 直美はピアノのことを話したいと考えているため。

問七 傍線部Ⅳ「途方にくれるしかなかった。」とあるが、このときの心情説明として最も適当なものを、次のア～エまでのの中から選んで、記号で答えなさい。

ア 直美の気分を損ねてしまったことで、自分への怒りがおさえられない気持ち。

イ 直美が足を失ったことを気にしていない態度をみて、あきれられる気持ち。

ウ 直美の言葉に対して、なんと答えればいいのか分からず困り果てた気持ち。

エ 直美が無理をしてもいつも通りにふるまっているので、どうにかなぐさめたいという気持ち。

問八 傍線部Ⅴ「じろじろとこちらを眺めている。」とあるが、このときの直美の心情説明として最も適当なものを、次のア～エまでのの中から選んで、記号で答えなさい。

ア 自分に対して気をつかわない良一を困らせることで、仕返ししようという気持ち。

イ 自分に対する良一の態度をみて、良一の人柄をうかがおうという気持ち。

ウ 良一が動揺する姿を見ることで、ストレスを発散したいという気持ち。

エ 良一と徹也の違いを見つけたことで、優越感にひたっている気持ち。

平成二十九年 推薦入試 学力考査 (国語) 解答用紙

受験番号
名前

問一	f	a
	b	
c		d
e		

問二	A
問三	I
問四	II

問五		
3	2	1

問六	一
	打

問七	

問一	A
	B
C	

問二	D

問三	

問四	

問五	

問六	

問七	

問八	